



令和4年度 社会福祉法人神栖市社会福祉協議会 定時評議員会 議事録抄本

招集年月日 令和4年5月31日(火)
開催日時 令和4年6月24日(金) 午前10時00分～午前11時05分まで
開催場所 神栖市保健・福祉会館 2階 集会室B
出席評議員 野口文男、立原ひろみ、野口芳夫、宮川輝雄、菅谷清美、細田 博、柴田紘子、細田喜代美、草薨正良、吉川栄子、幸保雅行、安藤順子、高木京子、須之内正昭、山家多美子、菱木三恵子、高橋 等、山間松代、大塚正勝、保立憲正、出沼悦子(全21名)
出席役員 石田 進会長、狭山利和常務理事、徳永正克監事

評議員総数31名中21名の出席により、定款第16条に定める評議員会決議要件を充たしていることを確認した後、定款第15条に基づき、全員一致で野口芳夫評議員を議長に互選した。議長の互選後、石田進会長が退席した。

議事に先だて、野口文男評議員、山間松代評議員を議事録署名人に選出した。

議 事

議案第1号 補欠役員の選任について

事務局(相良光浩センター長)から、現在理事である保立典昭氏、古川多美雄氏について、選出母体である神栖市行政委員連絡協議会内の役職交替により、後任理事を選任する必要がある旨が説明された後、定款第21条及び役員選任規程第2条の規定に基づき選任案の質疑に入った。

特に質疑はなく、議長から質疑の終了が宣言され採決に入った。採決の結果、議長を除く賛成20名、反対0名で以下のとおり決議した。

理事は、池田治和(行政委員)、山岸紳一郎(行政委員)の2名が選任された。

議案第2号 令和3年度神栖市社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業区分収支決算並びに公益事業区分収支決算の承認について

事務局から、事業報告書の内容(荒井真由美事務局次長)、計算関係書類の内容(相良光浩センター長)について説明があり、徳永正克監事から監査報告がされた後、質疑に入り、以下の質疑があった。

(須之内正昭評議員)

事業報告の内容について、令和3年度事業計画に対しどの程度達成されたか、この結果をどう評価しているか、説明してください。

(事務局 橘田勝事務局長)

事業結果の評価につきましては事業報告書作成時に事務局内で行いましたが、令和3年度は1年を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、相談対応の7割がコロナ関連となりました。生活福祉資金特例貸付申請期間の延長が繰り返される等、今後の展開を予測できない1年であり、コロナにより休止した事業もありましたので、事業計画に掲げた事業で実施できたのは50%程度ではありましたが、増大する相談への対応を最優先項目として取り組んで参りました。

なお、本会の事業計画書は本会ホームページでご覧いただけますが、今後の会議におきましては、事業報告書を当年度事業計画に照らして審議いただけるよう準備します。

(宮川輝雄評議員)

コロナの影響で事業の休止を余儀なくされたことは石田会長の挨拶にもありましたが、具体的にどんな事業が休止となったのか説明してください。

(事務局 橘田勝事務局長)

「地域ネットワーク勉強会」「ボランティア関連の各種講座」など、1カ所に集まる形態の事業については参加者同士の密を避けるため、また緊急事態宣言等により開催できる会場が確保できない期間もあり、こういった参集型の事業はほとんどが休止となりました。一方で「高校生の進路アシストカレッジ」は全てをオンライン形式に切り替えて実施しており、また相談業務についても電話相談、訪問相談を基本とし、来所・参集による複数人との接触機会をできるだけ少なくする工夫を続けました。

その他、宮川輝雄評議員から、生活福祉資金特例貸付制度について質問があり、事務局(橘田勝事務局長)から制度の概要を説明した。

他に質疑はなく、議長から質疑の終了が宣言され採決に入った。採決の結果、議長を除く賛成20名、反対0名で原案の通り決議した。

上記の記録が正確であることを証明するため署名捺印する。

議事録署名人

野口文男



令和4年6月29日署名

議事録署名人

山間松代



令和4年6月29日署名

議

長

野口芳夫



令和4年6月29日署名